

## ◎キシロカイン 0.5%筋注用溶解液 [注]

- 【重要度】 【一般製剤名】 リドカイン塩酸塩 (U) lidocaine hydrochloride 【分類】 局所麻酔剤
- 【単位】 ◎3mL/A [0.5%, 15mg/A]
- 【常用量】 1回 10~15mg (2~3mL)
- 【用法】 抗生物質製剤を筋注する場合の疼痛緩和のための溶解液として用いる。静注には使用しない
- 【透析患者への投与方法】 減量の必要なし (3)
- 【保存期腎不全患者への投与方法】 減量の必要なし (3,12)
- 【特徴】 抗生物質製剤を筋注する場合の疼痛緩和のための局所注射用溶解液として用いられる。SM0.5V 筋注時に2~3mLで溶解し、その半量を筋注している (5)
- 【主な副作用・毒性】 精神錯乱、傾眠、呼吸抑制、痙攣、心室頻拍、PQ・QRS延長、血圧下降、ショック等の出現
- 【モニターすべき項目】 血圧、ECG、血清電解質濃度、血清リドカイン濃度
- 【F】 経口 35% (14)
- 【代謝】 90%が肝代謝、代謝物 monoethylglycinexylidide, glycinexylidide に弱い活性があり、投与後 24 時間以上経過して作用・毒性を表すことがある (U) 本剤は主として、肝代謝酵素 CYP1A2 および CYP3A4 で代謝される (1) CYP3A4 によって代謝 (N-脱メチル化) される (9)
- 【排泄】 尿中未変化体排泄率 10%以下 (U) 10% (14) 5%以下 (15) 【CL】 9.2mL/min/kg (5) 9~11mL/min/kg (15) 550~1440mL/min (上野和行: 月刊薬局増刊, 2004)
- 【t1/2】 1.2~2.2hr (2) 1.8hr (14) 【透析患者の t1/2】 1.3~3.0hr (2)
- 【蛋白結合率】 濃度依存で AAG と結合。1~4 μg/mL のとき 60~80% (U) 10~60% (6)
- 【Vd】 1.0L/kg、心不全患者で減少 (U) 1.5L/kg (14)
- 【MW】 234.34
- 【透析性】 HD ではほとんど除去されない (U) 【透析 CL】 16mL/min (8)
- 【定常状態血漿濃度到達時間】 3~4hr (持続静注)、心筋梗塞患者では 8~10hr (U)
- 【効果発現時間】 1~5min (U)
- 【効果持続時間】 30~60min (U)
- 【更新日】 20121018

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。